

令和元年6月19日(水)  
**県議会6月定例会 本会議一般質問**

**1 少子化、人口減少対策について**

①これまでの出生率向上に向けた少子化対策の成果をどのように捉え、また県民希望出生率1.9との乖離についてどのように認識しているのか。

**答 弁(知事)**  
 結婚支援や周産期医療体制の充実、子育て支援などに取り組んできた。合計特殊出生率は1.34まで下がっていたが4年連続で1.5台を維持。これまでの対策は一定程度、効果をあげている。しかし県民希望出生率と開きがあり、本県への移住やUIJターンの促進と併せて総合的に取り組んでいく必要がある。

②県民希望出生率を人口が均衡した状態となる合計特殊出生率「人口置換水準」である2.07超へ引き上げる取り組みを進めていくべきと考えるが。

**答 弁(知事)**  
 少子化対策プランについては実態を調査・分析し、これまでの支援に加えて新たに働き方改革の推進や男性の家事・育児参画、子育て等に理解ある社会づくりなどの新たな視点も取り入れ県民会議がスタートしている。安心と喜びをもって子育てに当たれるような県づくりを進めていきたい。

③県の「マリッジサポートセンター」など、様々な支援機関が出会いから結婚までを支援している。結婚を希望されている方には、支援機関に行く前の段階での支援も重要であると考えるが。

**答 弁(総合政策局長)**  
 マリッジサポートセンターによる支援ではこれまで53組の成婚報告がある。支援機関の存在や仕組み等について周知に努め、参加を促す取り組みを行っており、結婚を希望される方々の願いがかなう環境づくりに取り組んでいきたい。



④成人式の時期などを利用した地元での複数年合同の同窓会への支援など、若いうち、かつ年齢が近いもの同士の出会いの場の創出が効果的と考えるが。

**答 弁(総合政策局長)**  
 未婚の男女の6割以上が「自然な出会い」を理想としている。また、学生時代の出会いが結婚に発展しているケースが多いという調査もある。出会い機会の創出を目的の一つとして同窓会を支援している自治体があり、効果を調査研究したい。地域と地域外に転出した人をつなぎUIJターンにもつながる貴重な場と考える。

⑤県立大学では看護学部新設や学科の改編拡充などにより定員増が図られているが、女性の大学進学時の県外流出を抑えるため女子学生に人気の文系学部を新設し、人材確保・地元定着に努めるべきと考えるが。

**答 弁(総合政策局長)**  
 開学以来、工学系の単科大学として産業振興、地域社会の発展に貢献している。質の高い看護人材の育成と女性の人材確保と県内定着を図るため看護学部を開設。少子化により生徒数が減少するなかで文系学部の学生は減っている。今後の動向を見極めるとともに文科省や近隣の大学などからの情報収集に努めたい。

**2 「令和」の典拠となった万葉集ゆかりの地について**

①新元号「令和」の典拠となった万葉集ゆかりの地として観光振興の絶好のチャンスを迎えていると考えるが。

**答 弁(知事)**  
 中西進高志の国文学館館長の講演会等を実施している。日本橋とやま館において万葉集の「令和」関連資料の展示、中西館長の講演会を開催し「富富富」と併せて本県の魅力の発信とイメージアップを行いたい。旅行商品の開発も期待されており、「令和」を活かした観光振興に取り組んでいきたい。

②高志の国文学館が万葉集ゆかりの地と連携し、万葉文学をPRすることで相乗効果が期待できると考えるが。

**答 弁(生活環境文化部長)**  
 大伴家持生誕1300年記念事業にあたり、高岡市をはじめ県内関係市町村と懇話会を設置し、連携して事業を展開してきた。また、県外の因幡万葉歴史館など関係6館を訪問し連携を呼び掛け、貴重な収蔵品や資料を借りての展示が実現。今後とも連携を図り万葉集の魅力を広く発信したい。



③世界の優れた詩人の業績を顕彰する「大伴家持文学賞」、若い世代の詩人で本県ゆかりの方による作品または本県を題材とした作品を顕彰する「高志の国詩歌賞」について、どのような効果を期待しているのか。

**答 弁(生活環境文化部長)**  
 「文学賞」ロングリー氏は受賞後、大伴家持や富山の自然などをテーマとした詩を制作・発表し世界に発信されることとなった。「詩歌賞」山田氏は世界的な詩人へと羽ばたくことを期待する。「世界で最も美しい湾クラブ」総会において、家持の秀歌と併せてロングリー氏の詩を掲載した冊子を作成配布する。

④「文学賞」「詩歌賞」に加えて新しい賞を創設し、万葉集ゆかりの地としての存在感を高めることを提案するが。

**答 弁(生活環境文化部長)**  
 「文学賞」「詩歌賞」は家持生誕記念事業として創設され、万葉集の素晴らしさを発信することを目的としている。まずは継続・定着に努めたい。高志の国文学館では県内のグループに「家持研究」枠を設けて万葉集に関する調査・研究も支援している。

**3 富山湾の活用について**

①全国的にクルーズ客船誘致活動が過熱しているが、どのような取り組みや船会社への提案を行っているのか。

**答 弁(観光・交通振興局長)**  
 昨年度から補助制度の創設やクルーズ誘致等コーディネーター、セールス専門員の配置により船会社に対するセー

ルス強化を図ってきた。今年度から①県内観光列車を活用したオプションツアーの造成支援②台湾や豪州などへ新規セールス③歓迎行事への支援対象事業の拡充に取り組んでいる。

②今年10月の「世界で最も美しい湾クラブ」世界総会には、加盟湾から100名以上の参加が見込まれているが、県としてアピールポイントはどこを考えているのか。

**答 弁(知事)**  
 世界総会開催は富山湾の多彩な魅力や環境保全等の取り組みを世界に発信できる絶好の機会となる。素晴らしい眺望、産業観光の魅力、食の魅力、伝統文化の魅力等多多彩な魅力をアピールする。

③世界総会に向けて、海外からのお客様をきれいな湾で迎え入れるため県民一丸で行動することが重要であると考えるが。

**答 弁(生活環境文化部長)**  
 従来から市町村、県環境保健衛生連合会などと連携して県内全域において清掃美化活動を展開している。本年度は世界総会に重ねて雨晴海岸、海王丸パーク周辺、ヒスイ海岸で重点的な海岸清掃を実施する。大量の海岸漂着物の処理が必要となった場合には県が災害関連事業として対応する。



④恋する灯台として認定された岩崎ノ鼻灯台、道の駅雨晴、伏木外港、吉久地区の街並みまでの海岸沿いの観光スポットを線で結びつつ勝興寺、国宝瑞龍寺などの名勝地への周遊性を高める観光ルートの整備を図るべきと考えるが。

**答 弁(観光・交通振興局長)**  
 高岡市には魅力ある観光スポットが数多く点在している。「観光資源重点磨き上げ支援プロジェクト」として、とやま観光推進機構や市町村等と連携し、意欲ある市町村等の新たな旅行商品造成等を支援してきている。

